



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成28年(2016年)
12月20日
火曜日
第181号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

—学校との連携を進めています— 県立美術館「美術館教室」

県立美術館では、児童生徒を対象に美術や総合的な学習の時間の授業、職場体験などでの学習活動を支援する「美術館教室」を行っています。メニューの一部を紹介します。

◆アートカードの貸し出し

当館の収蔵品をカードにして、ゲームをしながら楽しく鑑賞活動を行うことができます。48枚1セットの貸し出しで遊び方ガイド、作品の解説をお付けします。



アートカード

◆出張美術講座

当館教育普及スタッフや学芸員が学校を訪問し、レプリカや教材キットなどを使って、当館収蔵品や作家の解説などの授業を行います。



出張美術講座

◆ロダン館デッサン・スケッチ・クロッキー

ロダン館で、ロダン作品を中心とした彫刻作品を素描できます。細部までじっくり観察し、ロダン作品のよさや美しさを深く感じ取る貴重な体験になるはずです。



ロダン館デッサン・スケッチ・クロッキー

◆職場体験

インフォメーションでのご案内やミュージアムショップの仕事等を体験し、来館する幼児から年配まで幅広い年代のお客様と接することで、美術館の仕事について知り、働くことについて学びます。

◆ボランティアスタッフとの作品鑑賞

当館のボランティアスタッフと一緒に対話しながら企画展、収蔵品展、ロダン館の展示作品を鑑賞します。作品を鑑賞して思ったことや感じたことを友達や先生、ボランティアと話し合うことができます。

「美術館教室」は1カ月前までに事前の予約が必要です。この他にも多彩なプログラムをご用意しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

問 県立美術館学芸課 ☎054(263)5857

届け！ 家庭教育の学び！！

平成26年10月に「静岡県家庭教育支援条例」が制定されたから、2年がたちました。

家庭教育への支援は、社会全体が一体となって取り組むことが求められています。学校・家庭・地域が協力し合って、次代を担う子どもたちを育てていきたいと思います。

ぜひ「親学講座」の実施を！

学校の就学時の健康診断や入学説明会、入学式等、全ての保護者が集まる機会に「親学講座」を実施を！

家庭教育支援情報サイト「つながるネット」開設！

家庭教育支援に関する幅広い情報をより多くの方々に届けるため、家庭教育支援情報サイト「つながるネット」を開設しました。

このサイトでは、家庭教育ワークシート「つながるシート」や家庭教育支援企業宣言、各市町の家庭教育支援情報などの紹介に加え、保護者からの子育てに関する悩み・質問に子育て支援者が答える「家庭教育支援Q&A」を設けています。この「つながるネット」を通じて、インターネット上に家庭教育支援の新たなプラットフォームを構築



家庭教育支援情報サイト「つながるネット」

このサイトでは、家庭教育ワークシート「つながるシート」や家庭教育支援企業宣言、各市町の家庭教育支援情報などの紹介に加え、保護者からの子育てに関する悩み・質問に子育て支援者が答える「家庭教育支援Q&A」を設けています。この「つながるネット」を通じて、インターネット上に家庭教育支援の新たなプラットフォームを構築することを目指します。子育てのヒントや講座実施の工夫などをスマートフォン等から手軽に知ることができるよう「つながるネット」を、ぜひご利用ください。

問 社会教育課 ☎054(221)3115
HP つながるネット
検索

地域とともにある 学校づくり

県教育委員会では、地域との連携の実践を基に、域ぐるみで子どもを育てる取り組みが継続的・安定的に行われるよう、コミュニティ・スクール(以下CS)の推進に努めています。

平成27年度は、「しずおか型」CS推進会議において検討を重ね、静岡県内の現状や今後の課題等について報告書に取りまとめました。

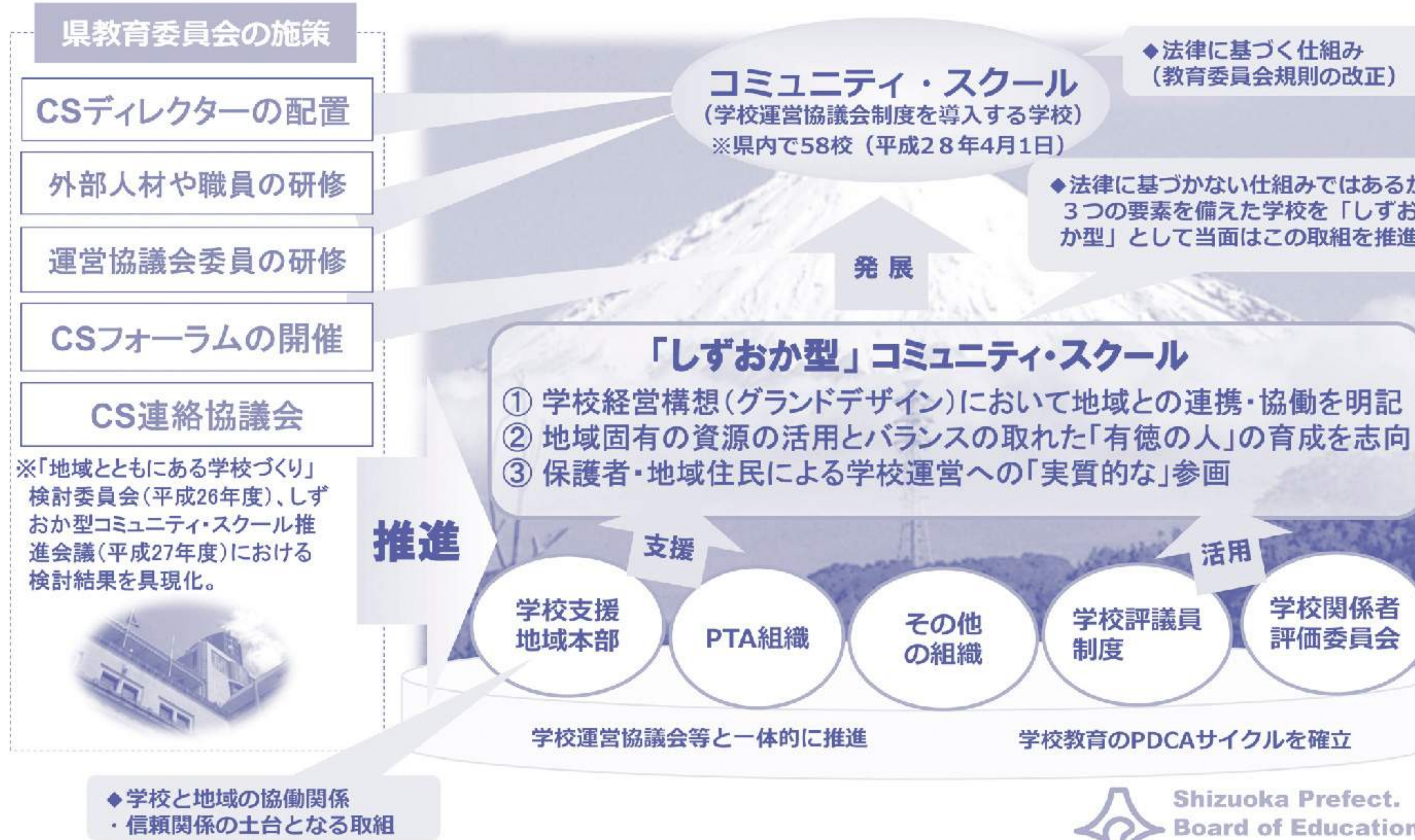
この報告書の中では、文部科学省が示すCSより広義に、県内でこれまで積み上げられてきた「CSマイスター」(※)の推進に努めています。

今後の方向

県内の多くの学校では、従前より地域との連携が根付いています。しかし、多忙化を極める現在の学校現場や若い先生方が増えていく今後の状況を考えると、今よりさらに一歩進んだ協働体制の確立に踏み出す必要があると考えます。

「しずおか型」コミュニティ・スクールの推進

※ これまでの地域社会との連携の実践を活かし、持続可能な「地域とともにある学校」づくりを推進



10年先、20年先の子どもたちが学校の未来のために、地域の特色を生かした豊かな教育活動を学校だけでなく地域の方々と一緒に考え、実践が積み上げられていくことを期待しています。

【義務教育課】

実践NOTE 361

子ども、教職員を支える学校事務

焼津市立大井川西小学校 主事 藤田 遼



筆者

教員の事務処理負担の軽減

近年、教員の多忙化がニュースなどで取り上げられています。本校の教員も授業の準備や事務処理等に追われ、朝早くから夜遅くまで忙しく仕事をしています。

そこで私は、教員の事務処理の負担を減らしたいと考え、先輩事務職員と協力し、学年会計事務の一括処理を事務室で行うことにしました。

一括処理の内容は次のとおりです。

- ① 予算書、会計報告書等の作成
- ② 学校預かり金の徴収、教材費の支払い及びこれらに伴う書類の作成
- ③ 子どもの転出入に伴う学年会計の清算処理、金融機関に提出する書類の作成

これらの事務処理の見直し・改善によって、教



先輩事務職員と協力・相談

員が子どもと向き合う時間が生まれ、子どもの学習活動の充実につながることで、子どもの学びを事務室から支えることができると考えています。

また、事務室で学年会計処理を一括で行うことで、学年間の会計処理の差異が無くなり、校内の統一化及び適正化を図ることができました。

さらに、各学年の教材費を支払う際には、一括して業者に銀行振込をすることが可能になり、各学年が負担する振込手数料の軽減にもつながっています。

そこで私は、教員の事務処理の負担を減らしたいと考え、先輩事務職員と協力し、学年会計事務の一括処理を事務室で行うことにしました。

一括処理の内容は次のとおりです。

- ① 予算書、会計報告書等の作成
- ② 学校預かり金の徴収、教材費の支払い及びこれらに伴う書類の作成
- ③ 子どもの転出入に伴う学年会計の清算処理、金融機関に提出する書類の作成

これらの事務処理の見直し・改善によって、教

事務室経営

平成28年度 学校教育目標 「自分らしさが輝く子」
重点目標 「自分から」が「いっぱい」、「思いやり」「支え合い」が「いっぱい」
学校経営方針 1 授業を核とし、全教育活動を通して、子どもに「生きる力」「自立する力」を育む 2 子どもが安全で、安心して生活できる学校をつくる 3 学校・保護者・地域が「協同」し、「地域の子ども」として子どもを育てる
事務室経営方針 財務・施設等の活動を核として全教育活動に関わることを通じて、学校教育目標、重点目標の達成に貢献する 教員の事務処理に係る負担の軽減により教育活動を支援する 義務教育機関にふさわしい学習環境づくりに努める 職員・児童・保護者・地域に信頼される事務室をめざす
事務室経営方針 小・中・高・特別支援学校との連携により、教育活動を支援する
学校経営参画 委員会等の積極的な参加と提案 授業参観等を行い、消耗品や備品等の活用方法や施設の状態に関する情報収集を行う 施設改修・備品修繕希望書や物品購入希望書、備品購入リスト等の資料を活用して施設の維持管理や予算の執行計画の策定と有効活用を図る 外部の対応及び校内連携をスムーズに行えるよう一日の初めに事務室の3人で打ち合わせを行う
管理職との連携 課題の共有と行政職としての補佐、事務主任としての提案
教員との協働 学年会計の情報と教育活動の連携の共有化 学校委員会等の事務処理における児童の家庭環境の情報と生徒指導の連携の共有化
地域事務室との共同 経理事務の事務室集中化 計画的な学校事務共同実施 地域事務室の組織的な運営による業務の効率化 大井川中学校区3校との連携

事務室経営案 目標に向かって今後も取り組みを進めます

職員全体に関する情報については、適切な時期に必要な情報提供を行うこと、またその上で、「教職員個々の事情に応じたきめ細かい情報提供に努めること」を具体的な行動目標としました。

教職員全体に関する情報は1週間に1度の打ち合わせで、毎回必ず情報提供するように努めています。また、校内で教職員の家庭状況等を知るのには管理職と事務職員だけのため、プライバシーに十分配慮し、真に必要な情報だけを提供するように努めています。

提供した情報の内容を一部紹介します。

- ① 初任者への給与支給明細書の見方の説明、家族の扶養状況が変化した場合の給付等の紹介、職員

今後の取り組みとして、心して職務に専念できる環境づくりを通して、子どもたちの健やかな成長の一助になれるよう努めます。

提供した情報の内容を一部紹介します。

- ① 初任者への給与支給明細書の見方の説明、家族の扶養状況が変化した場合の給付等の紹介、職員

今後の取り組みとして、心して職務に専念できる環境づくりを通して、子どもたちの健やかな成長の一助になれるよう努めます。

提供した情報の内容を一部紹介します。

- ① 初任者への給与支給明細書の見方の説明、家族の扶養状況が変化した場合の給付等の紹介、職員

の給与等に関する情報についての資料配布と説明

② 公立学校共済組合及び静岡県教職員互助組合の給付についての紹介、給付一覧表の回覧

③ 備品の購入希望、施設の修繕希望等の聞き取り、公費予算に関する執行状況表の作成及び教職員への配布と説明

①②は教職員の生活保障の一助となり、教職員が安心して職務に専念できる環境づくりにつながっています。

③については、学校全体としての公費予算の執行について確認することができました。また、分かりやすい執行状況表を作成することで、教職員の教育活動に適した予算執行を行うことができました。

今後の取り組みとして、心して職務に専念できる環境づくりを通して、子どもたちの健やかな成長の一助になれるよう努めます。

提供した情報の内容を一部紹介します。

- ① 初任者への給与支給明細書の見方の説明、家族の扶養状況が変化した場合の給付等の紹介、職員

実践NOTE 362

生徒にとって初めてのハンドボール授業の実践

静岡市立由比中学校 教諭 柴田 真二



筆者

初めての教材楽しさとの出会いを

私は昨年5月、ハンドボールの体育指導者研修に参加しました。この研修の中で、私自身がハンドボールという球技に触れ、感じ、学んだことを基に今回の授業実践に取り組みました。

今回、授業を行う中学1年生は、ハンドボールの経験や知識がほとんどありませんでした。生徒にとつて初めての教材で学習を進めるといふ点では、新鮮な魅力がありました。

そこで、授業を通して、生徒たちがハンドボールの特性に触れ、楽しさを感じ、学びの充実が図れ

るよう取り組みを進めました。

楽しさを味わい、技能を身に付ける

発達段階に応じた運動に取り組み、仲間と交流するなどの楽しさを味わうことができません。そして、技能が身に付き、それを活用することでより楽しさが高まるような授業を展開しました。

ほとんどの生徒にとつて、ハンドボールは初めての経験なので、「ソフトタッチの軽量ボールを使う

ボールと人の軌跡図」を使って話し合う場を意図的に設定しました。生徒たちがお互いに伝え合う場面をつくり、相手に

どのように伝わったかを確認するようにしました。ゲームでのボールや人の動きを学習カードに軌跡図として記入し、友だちがどのような動きをしたかを客観的な視点で伝え合い、理想的な動きができていたかを分

析しました。このような活動を通して、授業におけるコミュニケーションの活性化を図り、相手を意識した「伝える力の育成」に取り組みました。



「学習カード」を使ってどのような動きをしたかを伝え合う

本校では、相手を意識した「伝える力の育成」をテーマに研修を進めています。私は実技を大切に、聞こえるようになりました。また、生徒たちが授業後に書く振り返りの欄には、自分たちの取り組みについて、どうすればもっとよいものになるのか、積極的に考える姿勢が多く見られるようになりました。

生徒たちにとっては、「ハンドボールは面白い」という声が増え、授業の楽しさを感じ、学ぶ意欲が高まりました。

豊かなスポーツライフにつなげる

保健体育の授業で伝える力を育てる

楽しさを味わい、技能を身に付ける

SPAC芸術総監督 宮城聰演出 シェイクスピア 2作品を連続上演 平日は中高生鑑賞事業も

「SPAC秋・春のシーズン」では、1月から3月にかけてシェイクスピアの戯曲を2本連続で取り上げます。

第1弾は、新作「シェイクスピアの『冬物語』」です。猛烈な嫉妬から妻子を失い悲嘆にくれる王の元へ、16年後に訪れた奇跡。奇想天外な物語を、語り手と動き手による「2人1役」の手法で描きます。

続く第2弾は、再演を重ねる人気作「真夏の夜の夢」です。劇作家・演出家の野田秀樹氏が原作を大胆に潤色。その巧みな言葉遊びに、宮城芸術監督の機知に富んだ演出と躍動感あふれる打楽器のリズムが絡み合う、SPAC「祝祭音楽劇」の真骨頂です。

これら2作品は平日、「中高生鑑賞事業」として、県内の中学・高校生を対象とした招待公演も行っています。本事業は「演劇の教科書」という理念の下、古今東西の名作を上演しています。世界レベルの舞台を鑑賞できる機会ですので、ぜひご活用ください。

問 SPAC・静岡県舞台芸術センター事務局 054(203)5735

「教育を語る」事務職員に!

AIは事務職員に代わるのか?

昨年12月、野村総合研究所が、「10〜20年後に日本の労働人口の49%が人工知能(AI)やロボット等で代替可能」との研究結果を発表し、大きな反響を巻き起こしました。教育現場では「行政事務員」「教育・研修事務員」などの職種が、人工知能等で代替できる可能性が高いと考えられています。しかし、実際の事務職員の仕事には「他者との協調や理

事務職員に必要な資質・能力

事務職員には、これまでの「正確・迅速な事務処理能力」「コミュニケーション能力」など業務に直結した資質・能力に加え、チームとしての学校を意識した「子ども理解」「外部との連携」「広い行政的視野」が必要になり

ます。総合教育センターでは、平成28年度行政職員研修において、「教育相談的なかかわり」「地域社会総がかりで取り組む人づくり」などのプログラムを導入しています。さらに、平成29年度以降も、「児童生徒の笑顔や幸福」の実現のためには、「チーム学校」として教職員全体で連携・協働することが必要です。登下校時の積極的な声掛けや、授業見学など、事務職員がすぐにも取り組めることはたくさんあります。事務職員が教育を語り、「チーム学校」の一員としてその役割を果たすことが、学校の活性化につながります。

マリンスポーツの魅力発信!

三ヶ日青年の家協力団体紹介



ヨットリーダーズクラブ(YLC)、ボードセー

リングリーダーズクラブ(BLC)は、共に三ヶ日青年の家を拠点に活動しているマリンスポーツ団体です。クラブの目的は、①マリンスポーツを通して青少年の健全育成に寄与すること、②クラブ員と活動に参加する他者との交流を通して豊かな人間性を培うこと、③三ヶ日青年の家が主催するマリンスポーツ体験事業への協力、④マリンスポーツ体験を通してマリンスポーツの楽しさ、素晴らしさを広めることの4点で、主に週末に三ヶ日青年の家で、ヨット、ボードセーリングの技術向上に励んでいます。また、「青年の家まつり」での「乗船体験会」や、「マリンスポーツ体験」で、ヨットやボードセーリングの特性を説明したり、家族deフィッシング」が認定する「青少年指導者」の資格取得を目指し、指導者としての知識や技術の向上にも努めています。

年の家が主催するマリンスポーツ体験事業への協力、④マリンスポーツ体験を通してマリンスポーツの楽しさ、素晴らしさを広めることの4点で、主に週末に三ヶ日青年の家で、ヨット、ボードセーリングの技術向上に励んでいます。また、「青年の家まつり」での「乗船体験会」や、「マリンスポーツ体験」で、ヨットやボードセーリングの特性を説明したり、家族deフィッシング」が認定する「青少年指導者」の資格取得を目指し、指導者としての知識や技術の向上にも努めています。



【三ヶ日青年の家】

地域の想い 地域の絆 次世代へツナグ

第20回静岡県民俗芸能フェスティバル開催!



私たちが地域の伝統を継承します!(浜松市立清竜中学校の練習風景)

今回の民俗芸能フェスティバルでは、来年1月より放送されるNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の舞台であり、天竜川や浜名湖に代表される豊かな自然と多くの無形民俗文化財がある浜松市に伝わる民俗芸能を披露します。学校教育と地域の連携により、生徒が大切に受け継いでいる芸能をはじめ、心の故郷といわれる民俗芸能をお楽しみください。

■日時 平成29年1月22日(日) 開場：正午 開演：午後0時30分

■会場 浜松市雄踏文化センター大ホール(浜松市西区雄踏町宇布見5427) ※駐車場有

■交通アクセス【遠鉄バス】 JR浜松駅から「宇布見山崎」行にて、「宇布見領家」下車徒歩5分 JR舞阪駅から「浜松駅」行にて、「雄踏中学」下車徒歩15分

■芸能解説 中村羊一郎氏 (民俗学者・静岡産業大学総合研究所客員研究員)

■入場 無料

■申込 不要

■文化財保護課 054(221)3159

平成28年度文部科学省委託事業「子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業」

防災キャンプのすすめ ~地域防災の担い手になろう~

防災キャンプとは… 地域のさまざまな関係者が連携・協力しながら、学校等を避難所とした生活体験や体験的な防災教育プログラムを実践するキャンプです。平成24年度から、これまでに12市町23カ所で実施しました。

- 具体的な活動は?
- ◆学ぶ ・避難所運営(HUG)訓練・やさしい防災基礎講座・避難所での過ごし方についての講演
 - ◆体験する・土のう作製・簡易トイレ作製・炊き出し・非常食体験・応急救護訓練・パッキング・食器作り・ジャッキアップ体験

平成28年度実施地区



河津町防災キャンプ(南小学校区) 停電時を想定した夕食作り
南伊豆町防災キャンプ(南伊豆東中学校区) 避難所運営(HUG)訓練
掛川市防災キャンプ(千浜小学校区) ジャッキアップ体験
富士市防災キャンプ(岳陽中学校区) やさしい防災基礎講座
清水町防災キャンプ(南小学校区) 新聞紙でお餅づくり

参加者の声から

- ◆防災の知識を持っていればさまざまな人を助けられることが分かった。(児童・生徒)
- ◆中高生は、災害時に地域の大きな力となるので、学んだ知識や技能を生かしてほしい。(地域の方)
- ◆参加者が防災について真剣に考えるきっかけになるとともに、地域間の連携も深まった。(市町職員)

防災キャンプで実施しているプログラムを通学合宿や公民館講座などでも活用してみたいかがでしょうか。 【社会教育課】

蔵書点検に伴う 休館のお知らせ

期間 平成29年1月23日(月) ~ 2月3日(金)

県立中央図書館では、蔵書点検を実施するため、右記日程で、休館します。休館中は、電話やメール等によるレファレンスサービスも休止します。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

休館中の資料返却は、当館ブックポスト、グラシップ、お近くの市町立図書館のカウンター等へお願いします。

なお、グラシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」は 1月28日(土)、29日(日)を除き 開室します。

【県立中央図書館】

総合教育センター
よすなろAngle

計算や作図が できれば、意味も 理解している?

今年度の全国学力・学

習状況調査(算数・数学)から、本県の課題である「意味の理解」について取り上げます。「意味の理解」は、数学的な見方や考え方を育む土台としての役割を果たします。

【図1】算数A①(1)の「わる数が1より小さいときの商」について答える問題では、正答率が63.3%(全国64.8%)でした。一方、算数A②(3)の計算問題では、正答率が78.5%(全国77.7%)でした。

この2問の結果から、意味の理解と計算技能との正答率の差が15.2%あることが分かります。

H28 算数A ①(1)

□÷0.8 の商は、□より

①大きい ② 小さい ③ 同じ

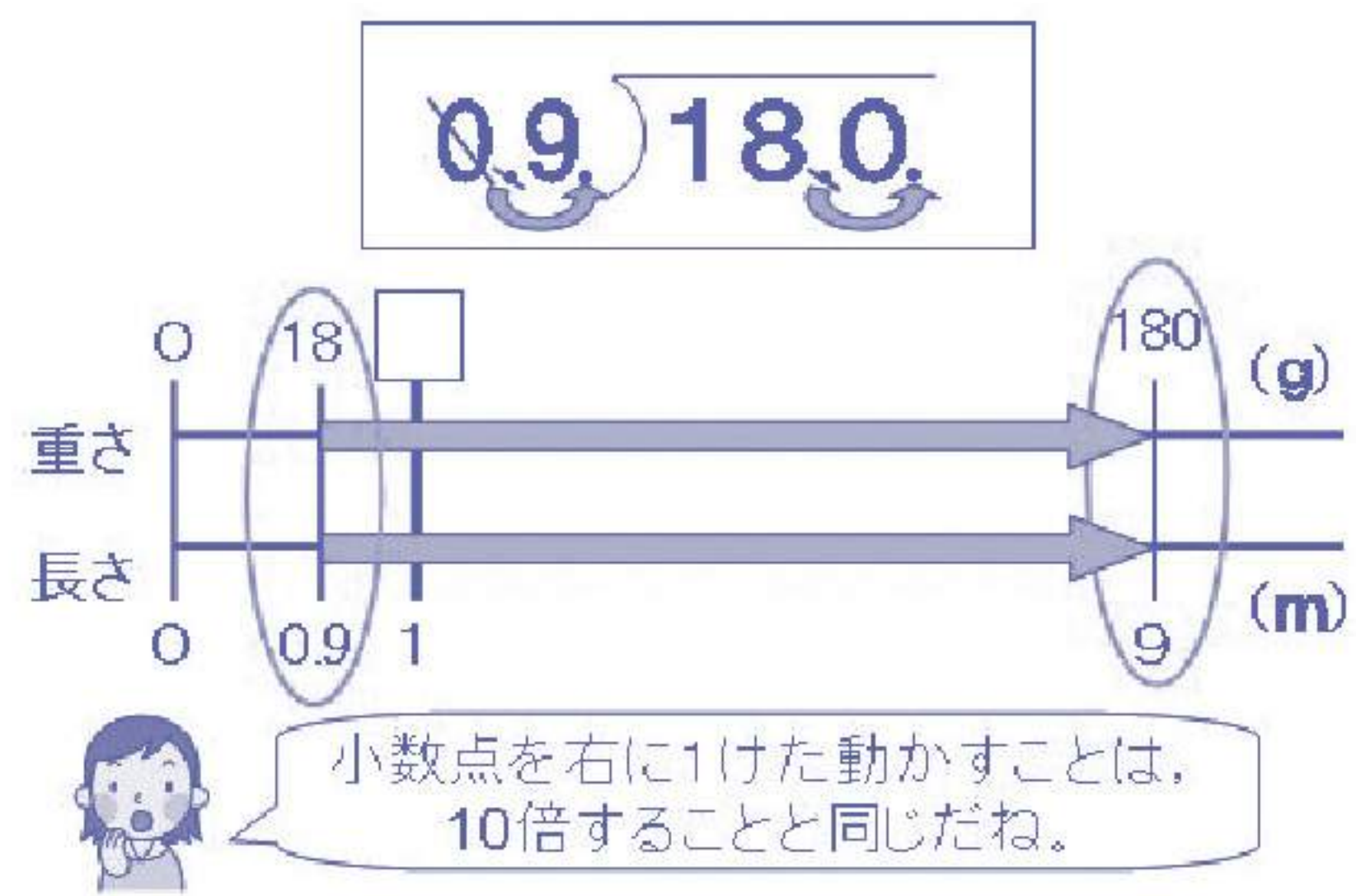
○意味の理解：正答率 63.3%

○計算技能：正答率 78.5%

H28 算数A ②(3)

18÷0.9=20

【図1】わる数が1より小さいときの商は?



【図2】計算の仕組みをイメージで捉える

さらに、友達同士で説明し合ったり、ノートに記述したりするなどの言語活動を取り入れることで、意味の理解が深まるようにします。

意味の理解を伴った技能の習熟を目指す。意味の理解は、算数・

例に示した小数の計算だけでなく、割合、関数方程式、作図などの問題でも意味の理解が不十分であることによる誤答が目立ちました。

計算の仕組みとイメージをつなげる

【図2】例えば、小数のわり算(小5)の計算場面で、「どうして、わるれる数とわる数の小数点を移動して計算することができるのだろう」と問いかけたとします。このとき、すべての子どもが「なぜなら...」と、その理由を説明できるようにしたいものです。そのため、授業では線分図等を用いて、子どもが計算の仕組みを具体的なイメージを伴って理解できるようにします。

探検大好き、自然大好きな 小さな冒険家集まれ!! -観音山もりもりキャンプ-

早春の観音山で思い切り活動しませんか。「森のワクワク探検」「夜のドキドキ探検」「沢のウキウキ探検」などの楽しい体験ができます。観音レンジャーも小さな冒険家の皆さんを待っています。

- 日時 第1回 平成29年2月25日(土)~2月26日(日)【1泊2日】
第2回 平成29年3月4日(土)~3月5日(日)【1泊2日】
- 対象 小学校1~3年生
- 参加費 5,000円
- 定員 各回120人程度(応募者多数の場合は抽選)
- 申込 12月12日(月)~1月20日(金)※締切日必着(郵送にて受付、指定申込書は観音山少年自然の家ホームページ(<http://www.inh.co.jp/kannyoyama/>)からダウンロードできます)
- その他 第1回と第2回の両方に申し込みことはできません。

観音レンジャー

申・問 観音山少年自然の家
TEL053(545)0111
〒431-2201 浜松市北区引佐町東久留女木字観音山

「オール静岡!学校と地域の連携推進講座」 大切な人の「食」を支えませんか?

(株)しよくスポーツ代表取締役のこばたてるみ氏を講師にお招きし、「食で支え、食で育てる。~子どもと地域をつなぐ食の力~」をテーマに、お話いただきます。トップアスリートからビジネスマンまで幅広く栄養サポートを手掛ける、こばたてるみ氏の講演を聞いて、大切な人の「食」を支えるきっかけにしませんか?



こばた てるみ 氏

- 日時 平成29年1月21日(土)
午後1時45分~3時40分
(開場 午後1時15分)
- 会場 グランシップ6階 交流ホール
- 対象 学校や地域における子どもの支援や食・健康に関心のある方
- 定員 250人 ※要申込
- 申込 受付中(先着順)※参加無料
①電話 ②FAX(自宅等で返信可能なFAXから送信してください)
③Eメールのいずれかによる。1件につき4人まで申し込み可能。
☆詳細はこちらから

まなぼっと 静岡 検索

申・問 総合教育センター
生涯学習推進室
TEL0537(24)9715 FAX0537(24)9748
Eメール kouza@manabi.pref.shizuoka.jp 申込入力画面

黒はんぺんを作ろう

原料や作り方など、黒はんぺんのいろんな秘密を知ることができますよ。ご家族やお友達同士などでぜひご参加ください。

- 日時 平成29年1月29日(日)午前9時30分~午後1時
- 場所 焼津青少年の家
- 内容 黒はんぺん作りの体験と試食
- 対象 家族、グループなど(小学3年生以下は保護者同伴)
- 定員 50人程度
- 参加費 1人800円
(体験費用と黒はんぺんを試食しながらの昼食代)
- 申込 1月6日(金)午前9時~1月22日(日)午後5時
※先着順(お電話でお申し込みください)
- 持ち物 マスク、エプロン、三角巾等
- 申・問 焼津青少年の家 TEL054(624)4675

まなぼっと

静岡県を体感しよう!

総合教育センターでは「いつでも」「誰でも」「どこでも」学ぶことのできる環境づくりに向けて、静岡県生涯学習情報発信システム「まなぼっと」を運用しています。静岡県には、魅力的な体験施設や学習講座、イベントがたくさんあります。こうした魅力たっぷりの情報を「まなぼっと」では紹介しており、子どもから大人まで自分の興味や関心に合った情報を検索できます。学校向けには、総合的な学習の時間に使える体験活動、出前講座、施設見学等の情報を掲載しています。

フェイスブックもぞいてね!

さあ、新たなワクワクを見つけよう...

まなぼっと 静岡 検索



フェイスブックページ



ハテナ から ヒラメキ に
まなぼっと 静岡 検索

48mmまでの厚みのある硬質メディアにも最適なパフォーマンスを発揮!!
アクリルやノリパネなどに直接プリント可能!!

250ミクロンという一般の3倍の厚さのラミネートを自由自在にカット!!

Tシャツをはじめとする様々なオリジナルプリントグッズを作成!!

小ロット印刷や短納期の印刷向け高速オンデマンド出力機
A4片面3600枚/時間が可能!!

企画からデザイン印刷まで可能な限り
どの様なニーズにも対応!!

- デザイン企画 ●文字入力・編集 ●製版フィルム出力
- CTP刷版出力 ●大判出力 ●パンフレット ●会社案内
- チケット(ナンバリング可能) ●自費出版 ●商品カタログ
- カレンダー ●ポスター ●POP ●チラシ ●PDFファイル
- メニュー(ラミネートバウチ加工可能) ●ラベル ●ポストカード
- DM(バリアブル印刷可能) ●スタンプカード ●その他

株式会社 ライトグラフ
〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷2385番地
TEL (054) 276-2520 FAX (054) 276-2521
HP : <http://www.rakuten.co.jp/rightgraph/index.html>